

静岡県食肉センター(仮称)新築他工事に関するサウンディング型市場調査結果の公表について

令和4年4月20日

静岡県交通基盤部建築管理局建築企画課長

1 サウンディング実施の経緯

静岡県食肉センター（仮称）再編整備計画は、施設や設備の老朽化が進む県内2か所の食肉センターを統合して、現小笠食肉センター内に静岡県食肉センター（仮称）を整備するものです。

本センターの整備は施設を操業しながら複数年度に渡って行うため、操業の継続や安全面に十分に配慮しながら円滑に進める必要があります。さらに、高度な衛生管理基準への適合及び複雑なプラント設備との調整が求められ、老朽化した既存施設の増築や改修も行うなど、高い施工技術が求められます。

これらの課題に対応し、完成期日までに確実に工事を完成させるために、E C I発注方式の採用を検討してきました。

本調査は建設事業者との対話により、本方式を採用した場合の建設工事への参入可能性や事業条件、スケジュールの妥当性等の実情を把握・検証し、適正な工事発注を検討するために実施しました。

2 サウンディングの実施スケジュール

サウンディング実施要領の公表：令和4年2月22日(火)

サウンディング実施の期間：令和4年3月7日(月)～令和4年3月16日(水)

サウンディング結果概要の公表：令和4年4月20日(水)

3 サウンディングの参加者

合計：6者

4 サウンディング結果の概要

サウンディング結果は下表のとおりです。なお、参加者の推定や競争を阻害する要因になると思われる内容の公表は行いません。

| 対話の対象項目 | 対話結果概要 |
|---------|---|
| 1 参加条件 | (1) 参加意欲と受注体制 参加意欲の有無：「有」6者 受注体制の構築：「可能」1者、「不明」5者 (2) J V構成員としての県内企業の採用予定（各業種ごと） 建築工事：「2者」2者、「1者」1者、「不明」3者 電気設備工事：「する」1者、「不明」5者 機械設備工事：「不明」6者 <主な意見> ・参加条件が不明なため回答できない。 |

| | |
|--------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業との連携は考えたい。 <p>(3) 受注体制上の支障となる内容や意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が想定している J V 組成体制は企業利益を考慮すると難しい。 ・プラント設備工事が構成員として入ることは問題ない。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食肉センターの施工実績は少なく、プロポーザルの参加条件に設定されると参加が難しい。 <p>(5) ECI 方式による効果</p> <p><メリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実勢価格の把握とコストコントロールが可能である。 ・工期短縮につながる提案が可能である。 <p><デメリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務量の想定、技術者の確保、業務費用の算定が難しい。 |
| 2 受注実績 | <p>(1) ECI 方式の受注実績 「有」 5 者、「無」 1 者</p> <p>(2) 食肉センター等の施工実績 「有」 6 者</p> |
| 3 工期 | <ul style="list-style-type: none"> ・長い事業期間であるものの、操業に伴う作業制約や仮設計画により判断が難しい。 ・現在、資機材納期が長期化しているため、不安がある。 |
| 4 技術提案 | <p>技術提案の可否 「可能」 1 者、「不明」 5 者</p> <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討していないため、現時点では回答できない。 |
| 5 その他 | <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案までの期間は最低 2 か月欲しい。 ・概算工事費算出の数量書があれば開示して欲しい。 |

5 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング型市場調査において E C I 方式の導入、参加条件及び社会状況を考慮した懸案事項などの具体的な意見をいただきました。

今後、調査の結果を踏まえ、 E C I 方式による事業者公募を実施する予定です。